

現場優先で調査・行動

日本共産党

市民の願い実現へ、ねばりづよく

岡村 英治

1952年生まれ。広島大学卒。鳥取富士書店、新日本海新聞社に勤務。日本海新聞労組や保育園保護者会の役員を歴任。95年から米子市議。

弱い立場の人の願いを行政へ それが私の原点です

就職した書店で、中小企業に働く人の劣悪な労働条件に矛盾を感じました。少しでも改善したいと、青年運動や労働運動にとりくんできました。

「市議会議員に」という要請に、人生を社会の進歩に役立てたいと決意しました。



自宅を開放して学童保育 8年越しで「なかよし学級」実現

長男が小学校に入学したとき、住吉地域には学童保育がありませんでした。自宅の離れを開放し、ボランティアによる学童保育をはじめました。

学童設置を市や市議会に働きかけ、8年越しの運動で「なかよし学級」が実現しました。

「子どもがグッタリ」、すぐ現場へ エアコンを保育園の全室に設置



保護者からの切実な訴えに、さっそく現場へ。エアコンは一部の部屋にしかなく、お昼寝の時は、そこにぎゅうぎゅう詰めでした。

保護者と保育士の要望を集め、市議会にて提案。すべての部屋のエアコン設置にこぎつけました。



子どもたちの
健康のために！
未来の

みんなで力を合わせ実現へ！

くらし・福祉

国保料1世帯1万円引き下げ

介護保険料・利用料の減額免除

だれでも入れる高齢者施設

子育て支援

高い保育料を半額に

学童保育の充実と保護者負担の軽減

地域の活性化

中小企業を支援し最賃1千円以上に

住宅・商店リフォーム助成の創設で仕

事おこし

原発・エネルギー

島根原発の再稼働反対

地産地消の自然エネルギーで雇用も



安倍政権の暴走と対決
政治を国民の手に取り戻そう！

明るい米子

2017年8・9月号外
日本共産党米子市委員会 ☎(24)4811
日本共産党米子市委員会の政策を紹介します。



暮らしが大変
先行きが不安

願いにこたえ全力!

日本共産党 米子市議会議員 **岡村 英治**

中学校給食実現へ粘り強く提案

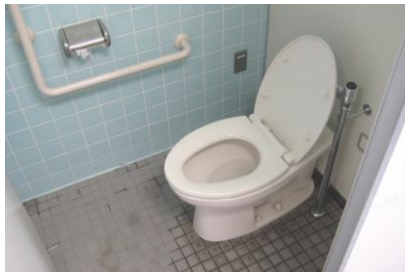
県内で最後まで背を向けていた中学校給食が、2015年からはじまりました。



保護者の願いを届けるとともに、市内で2校は実施していること、弁当では必要な栄養をとりきれないこと、「食教育」の意義などをくりかえし提起してきた、市議会での質問が実りました。



中海いっせい清掃に参加。錦織陽子県議らとともに、いい汗を流しました。



子育て支援が一步いっぽ前進

子どもは未来への宝物。子育て支援と教育の充実はライフワークです。くり返しの提案で実現した「高校卒業までの医療費助成」、保育園や学校トイレの洋式化、第3子以降の保育料の無料化、学習支援の「こども☆みらい塾」…。子どもの貧困が広がるなか、もつともつと。

住民負担おしつけとキッパリ対決

15年度には国保料が9・2%、介護保険料が14・2%も、大幅に引き上げられました。

いまでも高く払えない人が少なくないのに、「こんな負担増が許されるのか」と、きびしく批判しました。一方で、市長や議員の期末手当は0・1カ月分引き上げ。これにキッパリ反対したのは私だけでした。



議員の政務活動費領収書をホームページで公開するよう、市議会議長に申し入れ。

国連で核兵器禁止条約が誕生!
「核兵器なくせ!」の先頭に



名水の里に産廃処分場はいらない

県が強引に押しつける淀江の産廃処分場問題。計画地の半分は市有地です。

計画地の下流は天の真名井など名水の里。漁協も反対を表明しました。何としてもストップを!



「毎日」7月13日付